

平成 29 年度 地域力向上事業（生活・自立支援キャンプ）

## 「チャレンジオータムキャンプ in ASO」事業報告書

事業推進室長 小宮広明

### 1 事業の概要

- (1) 趣 旨 子供たちがたくましく生きる力を育むために、登山や動物とのふれ合い体験、野外調理などの多様な体験をさせるとともに集団宿泊体験を通して、規則正しい生活習慣や自立する力、困難を克服する力を身につけさせる。
- (2) 期 日 平成 29 年 11 月 4 日（土）～ 11 月 5 日（日） 【1泊2日】
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家、エルパティオ牧場、杵島岳
- (4) 参加者 45名（幼児：4名、小学生：10名、中学生：12名、高校生：10名、指導者：9名）
- (5) 担当職員 小宮 広明（事業推進室長） 安部 信吾（企画指導専門職）  
三枝ひとみ（企画指導専門職） 宮本 賀通（事業推進係員）  
宇戸口 健（事業支援室係員）
- (6) 内 容 動物ふれあい体験(乗馬等)、野外調理、登山

### 2 成果と課題

#### (1) 成 果

- 参加者の感想には、「初めて馬に乗ることができてとてもよかったです。わくわくと緊張でいっぱいでしたが、ふり落とされずに乗ることができました。広い草原を見ながら乗れたので気持ちよかったです。」「ピザづくりでは、班の人たちと協力して一番に食べることができました。片付けも一番に終わって他の班の人の片付けも手伝いました。」「プラホビーでは、妹の分まできれいに作れたのでよかったです。」などが見られた。新しいことにチャレンジしたり、仲間と協力して活動したりと充実した2日間を過ごせたことが伺えた。
- 杵島岳登山では、コースを「幼児コース」「小学生以上コース」と分けたことで、幼児をはじめ、参加者全員が山頂に立つことができた。
- 多くの活動において、園の年長者が年下の子供たちの面倒を見たり、活動を手伝ったりする姿が見られ、同じ施設で生活する仲間としてのつながりを深めることができた。

#### (2) 課 題

- 今回、時間の都合で開閉会式を野外で行ったが、話をしっかり聞けない参加者が見られた。開閉会式の場所や形態を工夫し、はじめのある式ができるようにする必要がある。
- 広安愛児園と連携した事業（「生活・自立支援キャンプ」）は、今回が最後であった。今後、同施設を研修支援として受け入れることを模索していき、施設で生活する子供たちへの体験活動の場の提供の支援につなげていければと考える。